

平成 21 年度第 1 回調査・研究部議事録案

日 時：平成 21 年 7 月 6 日(月) 14：00～17：00

場 所：地盤工学会 JGS 会館 大会議室

出席者：川邊部長ほか 21 名

【 議 題 】

・前回（H21/1/21 開催）議事録の確認  
承認された。

・全体関係

1．平成 21 年度調査・研究部および各常設委員会の体制

承認された。ただし、いくつかの誤りが指摘され、それらを修正したのち部員へメールで送信することとなった。

2．調査・研究部の運営について

資料に基づき説明された。また、別添資料 1 については改めて各自で確認しておくよう要請された。

3．レビューシートについて

資料に基づき経過説明された。なお、未回収の委員会について締切りはすぎているが、継続的に提出を求めていくことも合わせて報告された。

4．理事会（1/30，2/27，3/18，4/24，5/15，5/28（総会））開催報告

資料に基づき説明された。主な報告事項を以下に示す。

- ・DVD の販売価格及び普及方策が承認された。
- ・受託業務の取り扱い方法の検討が総務部所管として検討されている。
- ・第 44 回地盤工学研究発表会の開催概要を報告した。
- ・公益法人化に向けて 8 月の臨時総会の開催を予定し、先行する土木学会の申請の状況を確認しながら平成 21 年度より申請を行う予定である。

・委員会構成関係

1．委員会の構成

1) 平成 21 年度新設委員会委員の構成

- ・情報通信技術（ICT 技術）の適用による地盤工学の高度化に関する研究委員会
- ・地盤材料試験結果の精度の分析と表記方法についての研究委員会  
承認された。

2．委員の追加，交代

1) 2008 年 岩手・宮城内内陸地震災害調査委員会

- ・幹事委員 藤井 登 氏 奥山ボーリング株式会社 調査設計部
- 委員 上島 照幸 氏 宮城大学環境システム学科
- 委員 熊谷 浩二 氏 八戸工業大学土木建築工学科
- 委員 梅村 順 氏 日本大学工学部土木工学科
- 委員 千葉 則行 氏 東北工業大学工学部建設システム工学科
- 委員 鈴木 輝一 氏 埼玉大学工学部建設工学科
- 委員 鈴木 久美子 氏 八戸工業大学土木建築工学科

理由：委員長推薦

2) 高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する研究委員会

- ・幹事委員 岡本 隆 氏 JFE スチール（株）スチール研究所主席研究員
- ・委員 石蔵 良平 氏 山口大学 大学院理工学研究科 助教

承認された。

・研究統括委員会関係

1．第 8 回環境地盤工学シンポジウム

- ・主催：地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会  
地盤環境企画委員会
- ・共催：秋田県立大学

- ・開催日時：平成 21 年 7 月 16 日（木），17 日の 2 日間
  - ・開催場所：秋田市 秋田市民交流プラザ  
資料を基に開催の概要が説明された。
2. 「横浜環状北線地盤変動監視委員会」の H21 契約
- ・受託額：税込¥1,894,200 円  
承認された。受託業務の取扱いについては、現在総務部所管で検討をがされているところであり、将来的に調査・研究部の管轄ではなく他の部に移管される可能性もあるが、現在までの経緯を含めこのままの体制で実施することが確認された。
3. 受託研究委員会からの要請 - 関連業務についての支部協力体制の確立について
- 資料を基に説明された。これまでの実施状況との違いがわかりづらいとの指摘があり、具体的な説明を再度求めることとなった。
4. 降雨と地震に対する斜面崩壊機構と安定性評価に関するシンポジウム
- ・開催日：平成 21 年 10 月 29 日（木）～10 月 30 日（金）
  - ・実行予算案：資料参照  
承認された。
5. 岩の力学連合会からの要請：連合会賞の選考委員の推薦
- 岩盤工学企画委員会に推薦の要請をし、以下の 2 名の推薦を受けた。
- ・候補者：芥川 真一 氏（神戸大学），小早川 博亮 氏（（財）電力中央研究所）の 2 名
6. 受託研究の取り扱いについて総務部からの確認依頼があった件  
承認された。
- ・行事委員会関係
1. 研究発表会
- 1) 第 43 回地盤工学研究発表会（広島大会）
- 支部還付金について  
承認された。ただし、当年度予算化されていない案件なので、理事会に上申する前に経理担当理事に報告する。
- 2) 第 44 回地盤工学研究発表会（関東大会：21 年度）
- 発表講演集の印刷部数 / 価格設定について
- ・冊子版講演集・・・印刷部数：120 部  
価格設定：22,000 円(会員特価, 税込), 28,600 円(定価, 税込)
- 理由：冊子版の予約注文数は、6/26 現在で 18 セットであり、昨年度よりいくらか少ない値となっています。
- 昨年度は 6 月の販売数 34 セット、2009 年 5 月末時点の総販売数は 80 セット程度で、現在残部が 80 セット（寄贈・保管用で 20 セット程度使用）となっております。
- 別紙に収支見込案を作成いたしました。
- 予算時は収入 1,750,000 円、支出 2,260,000 円収支差は-510,000 円で積算しており、当年度予算ではこの部分だけ考えるとマイナス予算としており、また、印刷部数も 100 部に変更することとしております。本来であれば、80 部販売、寄贈等 20 部の計 100 部で残部が無くなればそれで良いのですが、個人的には、1,2 年程度は若干の残部があってもよいのではと考えております（学会の大きな方針には反しますが）。
- また、価格につきましては、一昨年 2000 円値上げをしたばかりであり、価格を据え置いても「予算」は確保できるかと思われます。よって、『120 セットの印刷』及び『価格は据置き』を提案させていただきたく存じます。
- ・DVD-ROM・・・作成部数：2,000 枚（前年比-100 部）  
価格設定：14,300 円(会員特価, 税込), 18,590 円(定価, 税込)（前年と同額）
- 理由：DVD の作成数については、発表件数が前年度より-100 程度となっており、予算時の参加予定人数が 1710 名となっております。参加予定数は少なく見積もっておりますが、何名参加いただけるかよくわからないのが現状です。安全側の数字として、前年の作成枚数から発表件数減分の 100 部を引いて『2,000 枚作成』を提案させていただきたく存じます。また、価格については、こちらと同額とさせていただきたく存じます(DVD の販売収入は

予算化しておりません)。

#### 進行状況

印刷・作成部数および価格について承認された。また、実行委員会の準備状況について資料に沿って報告された。

### 3) 第45回地盤工学研究発表会(四国大会:22年度)

#### 開催会場および開催期日について

開催日は平成22年8月18日(水)~21日(土)(21日は見学会)、会場は愛媛大学講義棟を計画し、既に予約済みであることが説明された。

大学院入試等と重なることなどの開催日変更に関する意見があることが紹介されたが、愛媛大会では既に開催1年前となっており、他会場の手配、体制の変更等時間的に難しいとの回答であった。

行事委員会では、現在大学行事に関するアンケートを取りまとめているところであるとの報告がされた。

関東大会からは、技術展示収入に頼らない発表会の開催を目指して実施することで進めており、企画する側としてはこの方針は変えないことが確認された。

以上を考慮し、開催日および会場については、基本的には承認とし、至急アンケートの取り纏めを行い、その結果と合わせて理事会へ上申することとした。

次々回開催の関西地区については、前2回の開催日とアンケートを考慮し、開催日および会場について検討するよう要請された。

### 4) 第54回地盤工学シンポジウム

#### 現状の報告

投稿93件、開催場所の決定、学会賞受賞者講演の形式変更について資料を基に報告された。

60周年記念事業委員会より提案のあった「特別講演会の開催」については、会場費の増、もともと特別講演の予定だった学会賞受賞者講演が「論文発表形式」に変わりはしたが企画としては残っていることを考慮し、行わないこととした。

#### 優秀論文表彰

表彰に関する細則について説明された。

シンポジウム実施前に表彰者を公表するのは、流れからして問題があるように思うとの意見があった。

上記意見を考慮し、至急修正案を作成、メール審議のうえ理事会に提案することとなった。

表彰に関する細則を上申する際に、上部規程の変更について表彰委員会に要請する。

#### ・学術情報委員会関係

### 1. 60周年記念DVD

#### 現状・今後のスケジュール

- ・7/3 校了を指示、プレス等開始
- ・7/30 納品予定
- ・8/3 事前注文者への発送予定

事前注文数:18団体20セット

上記について経過説明された。

作成部数について審議し、「予算(見積り)を超えない範囲で事務局で作成部数を決める」ことが承認された。

販売促進活動について意見がだされ、以下の活動を至急執り行うこととなった。

- ・全会員および特別会員メーリングリストを駆使し、PRを行う。
- ・全国大学の図書館へDMを発送する。
- ・研究発表会会場にてデモを行う。

以上